

裏面からの続きです



日光市社会福祉協議会日光支所から、チューリップの球根を約800株ほどいただきました。そこで、ふれあいの郷管理組合の皆さんにご協力いただきふれあいの郷の農園に色別で植え付け作業を行いました！

今から開花が楽しみです！開花したら回覧でお知らせしますので、是非見に来てくださいね♪

12/18 植え付け作業



10/4~5 協力隊サミット in 足利市



サミットに参加された方々

県内の協力隊が一堂に会する『協力隊サミット』。今年度は足利市で行われました。足利市の協力隊2名による活動報告を聞いたあと講師の方々の貴重な体験談やアドバイスを聞き、その後、班に分かれて意見交換会を行いました。

2日目は活動地域視察として、班に分かれて街中を散策しました。旧足銀本店で足利の歴史について学んだり、近年移住者が増えているレトロモダンな街並みを見学したりしました。また、ロケ誘致も多く行われていて、実際に映画の撮影に使われた映画のセットを見たり、撮影秘話を聞いたりしました。わずか数時間の見学でしたが、とても参考になることが多いサミットとなりました！



裏通りのレトロモダンな街並み



実際に映画に使われたセットが残っている

2019年もよろしくお願ひします！

皆さん、こんにちは！地域おこし協力隊のまきちゃんです。
いよいよ今年『平成』ラストイヤーですね！どんな年号になるのか楽しみです♪

さて、私がふれあいの郷を活動拠点にしてから、2月で約半年が経ちます。常駐することで、どんな方がどんなふうにご利用しているのかを沢山見てきました。そこで一つ思ったことがあります。それは、「**地区外の利用者が少ない！**」ということです。

平日の利用者の割合を見ていると、『地元の方』と『地区外の方』で**9:1**（イベント時を除く）くらいだと感じました。こんなに立派な施設であるのに利用者が少ないのは、本当にもったいないですね。

なぜ地区外の方の利用が少ないのでしょうか。小来川を訪れる人が、決していないわけではありません。例えば、そばを食べに、釣りをしに、山登りに、自転車に乗り、小来川に来る人はいるのです。それなのに、ふれあいの郷に寄らずに帰ってしまうのです。

ではなぜ、寄らずに帰ってしまうのでしょうか。それは『知らない』ことが原因だと考えます。『**営業時間や営業日を知らない**』『どこにあるのか知らない』『何が売っているのか知らない』『何ができるのか知らない』『そもそもふれあいの郷自体を知らない』などなど。また、小来川を初めて訪れる方がふれあいの郷を見て、はたして一目で【直売所】だと、【そば打ちの体験施設】だとわかるのでしょうか。こういった沢山の『知らない』が、利用者の少なさに繋がっていると感じました。

そこで「**知らないなら、知ってもらおう！**」ということで、ふれあいの郷をメインコンテンツとした情報ポータルサイトを作成していこうと思います。簡単に言うと、『**ホームページを作って小来川の地域情報を一つのサイトに集約し、そのページを見れば小来川のすべてがわかるようにする**』ということです。ポータルサイト作成は、以前より協力隊通信にて何度かお知らせしていた『ふれあいの郷再生プロジェクト』の中の一つとして進めていきます。プロジェクトの進捗具合は協力隊通信を通じて皆さんにお知らせしていきますので、次回の協力隊通信をお楽しみに！

2019年もよろしくお願ひします！

画：上吉原 麻紀



協力隊通信

2018 第3号

